

第 1 回 伊丹市行財政審議会 議 事 録

伊丹市行財政審議会

1. 日 時 令和6年5月17日（金） 16:00 ～ 18:00
2. 場 所 市役所1階 105 会議室
3. 出席者 【委員】
上村委員、藤原委員、松尾委員、松岡委員、和田委員（オンライン）
【事務局】
大竹財政基盤部長、野中財政企画室長、山田経営企画課長、熊畑主査、高辻主任、松岡職員、鳴濱職員
4. 傍聴者 0 名
5. 次 第
 - （1）開会
 - （2）開催あいさつ
 - （3）委員紹介
 - （4）会長・副会長の選出
 - （5）諮問
「行財政運営のあり方について」
 - （6）会長あいさつ
 - （7）議題
 - ① 伊丹市行財政審議会傍聴要領（案）と会議の公開について
 - ② 伊丹市行財政の状況と課題について
 - ③ 伊丹市新・行財政プランの策定について
 - ④ 今後の審議内容とスケジュールについて
 - （8）諸連絡
 - （9）閉会

(1) 開会

- 事務局 ・ 本日審議会は委員 7 名のうち 5 名出席であり、本会については伊丹市行財政審議会規則第 6 条第 2 項の規定により委員の過半数が出席していることから当審議会は成立していることを報告する。

(2) 開催あいさつ (省略)

(3) 委員紹介 (省略)

(4) 会長・副会長選出 (省略)

- 事務局 ・ 伊丹市行財政審議会規則第 5 条第規定により会長・副会長を互選により選出したい。欠席の委員より他の委員に一任する委任状をいただいている。会長の選出に際して、委員の皆様からご意見を伺いたい。

<他委員より松尾委員を推薦>

<各委員より承認を確認>

- 事務局 ・ 松尾委員に審議会の会長をお願いします。
副会長についてはいかがか。

<松尾委員より上村委員を推薦>

<各委員より承認を確認>

- 事務局 ・ 上村委員に審議会の副会長をお願いします。

(5) 諮問 (省略)

(6) 会長あいさつ (省略)

(7) 議題

- ①伊丹市行財政審議会傍聴要領 (案) と会議の公開について

<事務局より資料に基づいて説明>

- 会長
- ・傍聴要領（案）について質問等がありますか。無いということでご承認していただいたこととする。
 - ・会議録の署名については、名簿順で今回は上村委員と藤原委員にお願いしたい。
 - ・ただいまより会議を公開としたい。傍聴者がおられましたらどうぞ。

<傍聴者なし>

②伊丹市行財政の状況と課題について

<事務局より資料に基づいて説明>

- 会長
- ・事務局の説明について質問、意見等はありませんか。感想でも構いません。
- 委員
- ・現行財政プランに従い、4年間きっちりと実行したと評価したい。10ページにあるように現状のプランより収支不足の状況が改善できているのは非常に好ましい。
R7～R32以降の削減額としては、4年間の取組の実績を反映した数字を伸ばしていくイメージで計算されているのか。
- 事務局
- ・令和7年から令和32年は現行のプランどおりに進んだとした場合の数値である。
- 委員
- ・この4年間の状況は瞬間最大風速のようなもので、この数字が続くとは思えないことから、堅実に計算されているという意味で理解した。
- 委員
- ・10～12ページに関して、行革努力の取り組みの上振れ額56.9億円の中身としてモーターボート収益を入れていいものか気になる。行革努力で収益をはかれるものか。どういう項目で評価されるべきか、細かく検証する必要があるのでは。
行革によって上振れた財源を市民向けの政策的経費として再投資することはポジティブ要因で非常に効果的である。一番

望ましい形で次の財政改革を図ってほしい。

基金はバランスよく生きたお金にしなければならず、貯めすぎもよくない。基金をどのくらいで活用するか、金利のある時代で、役所でも財源を増やしていく観点も含め基金としてどう生かすかがポイントかと思う。

本日出席の市民委員には、ぜひ意見を頂けたらと思う。

- 事務局
- ・モーターボートが行革努力のところに入っているかというところで、現行財政プランの最後の 40 ページ、収益事業収入の確保というところがあり、行革努力の集約をする中でモーターボート収益上振れ分も合わせて計上している。次回以降、どこに計上するかというのは課題とさせていただく。
基金の設定については、今後の審議会の中で基金の活用に向けた目標の設定について検討できればと考えており、ご意見を賜り、目標を設定したいと考えている。
- 委員
- ・14 ページの公債管理基金について、将来の借金を返すために積み立てられているお金ということで、他の市よりも頑張って貯めているように思った。将来たとえばスポーツ施設が建つなど具体的な予定は決められているのか。
- 事務局
- ・公債管理基金がたくさんあるということで、市庁舎が建ち、その返済が始まっているとか、現在新病院の建設中で、物価高騰の影響を受け、入札不調などで建設費用が予定額より上振れたのもある。将来の返済額も増えることを含めて、この財源を活用しながら、できるだけ負担を少なくすることを考えている。
スポーツ施設については、現在、担当の部局でスポーツ施設のあり方検討をしている。スポーツセンター、緑ヶ丘体育館・プール、ローラースケート場、稲野運動公園施設などをどういうスポーツ施設にしていくのか、今年度、来年度あたりに具体化していき、しかるべき時期に公表していく。
- 委員
- ・施設マネジメントのところで、施設を 1 つに集約してと説明があったが、公立幼稚園の統廃合もここに含まれるのか。

- 事務局
- ・数年前に幼児教育施設を再編した。施設マネジメントの視点
がなかったのかというと、枠組みの中では行っていたが、幼
児教育の再編は、その前段に幼児教育の在り方を教育委員会
に諮問して、幼児教育のうち幼稚園ニーズが減ってきていて
ひとつの幼稚園のこども達の人数が減っていた。その環境が
こども達にとってよいのかを審議し、複数学級のようにこど
も達がある程度たくさんいたほうが良いだろうという教育的
視点から導き出したというのが根底にある。
こども達の教育環境を保っていくために、こども達が集まっ
て環境を良くしようというのがまずある。結果として集約化
するという施設マネジメントの視点もあったということで理
解いただけたらと思う。
- 委員
- ・ちょうど子が通っていた公立幼稚園が在園中に閉園したので、
別の冊子で見た送迎用バスがあったらうれしかったなど、感
じた。
- 会長
- ・感想ですが、6 ページの実質収支の推移を見ると、コロナ禍
の2～3年、国の補助金や助成金をうまく使いながら、市の事
業を実施したため財政的には痛まなかったところもあるの
ではないかと考えている。
 - ・11 ページの指標も達成状況は、前回、健全性を意識しながら
積極的に行政課題に取り組み投資をしていこうという、アク
セルとブレーキを両方踏んでいきましょうということだった
が、アクセルを十分踏めていたか検証する余地はあるかと思
う。数字の結果としては良い。
 - ・病院も特殊でコロナが5類に移行されて補助金が減っている
状況なので、おそらく令和5年度の決算から悪くなるはず。
どこの市民病院も令和5年～7年にかけて稼働率の低い病院
は財政がかなり痛むはずなので、その点の推移を精査する必
要があると思う。
- 事務局
- ・モーターボート収益の件で、補足する。モーターボートの収
益が行革努力に入っていたということについて、ボート事業が
下火になっていた時期があり、企業で努力しているというのは
挙げられる。

本場収益は、そんなに収益性は良くなく、電話投票が主力になっており、広告事業などマネジメントを働かせ企業努力、経営努力という意味で分類していた。

一時的にコロナ禍で収益が上がった部分と、経営努力で上がった収益の部分の線引きが難しくこのような分類となっているということでご理解いただきたい。

- ・基金について、貯めすぎもよくないというご意見もあったが、方々からどこまで貯めるのかと意見もあることから、今後の議題としてしっかりと考えていかなければならないと認識している。

③伊丹市新・行財政プランの策定について

<事務局より資料に基づいて説明>

- 会長 ・ ご意見ご質問等を伺いたい。
- 委員 ・ 感想ですが、前回の行財政プランでは不足額が 600 億円で、あれだけ頑張ったのに今回も不足額がほぼ 600 億円という。それだけ物価高騰の影響が相当大きいということ。ほかの自治体なども見ていると、コロナ禍で財政的によくなったところが多いイメージがある。平均的にみるとどうか。
- 会長 ・ 痛んでいるところは少なく、改善しているところが多い。
- 委員 ・ コロナ禍で助かっている自治体が多いのではないか。今回この 30 年間でコロナ禍のようなことが起こらないであろうと考え、より厳しい行財政改革をやっていけないといけないのではないかという印象がある。
- 委員 ・ 伊丹市の行革努力は数字に現れていると思う。
コロナ、物価高、人口減などの社会的変化の影響を考え行革もそれ以上のことをやらなければならない。
予測が立ちにくい世の中になっている中で、厳しめに人口を推計し、そこから出発するほうが先行きとしては良いと思う。

- 委員
- ・コロナ禍で近隣市と比較して、物品配布や、予防接種のクーポン配布などの対応が早く、他市の方からうらやましいと言われた印象が強く残っている。この場を借りてお礼申し上げたいくらいだ。ただ、令和 36 年度には国からイエローカードが出るほど悪化するという話を聞いて、厳しめに推計して、今後も暮らしやすい伊丹市にしてほしいと思う。
- 委員
- ・ペーパーレスが進んでいる実感がある。
学校の手紙や連絡などもペーパーレス化が進んでありがたいと思っているし、市の会議では資料もパソコンで見ることで削減効果があることを実感した。
- 会長
- ・前回と違って物価高の要素をどう見積るかというのが一番難しい課題である。賃金へ跳ね返っていれば税収が上がる見積りだが、楽観視はできない。賃金上昇分は市役所の人件費があがり、逆にコストアップとなることを踏まえると、保守的に見積らなければいけない。施設整備等は、税収があまり増えない中でそれ以上のレートで物価が上がっていくのを見込まなければいけない。その点が論点になるかと思う。
 - ・次回以降、項目別にどの程度物価上昇を見込むのか、人件費を含めて資料の準備をしていただけると議論しやすくなる。過度に保守的にならないよう配慮し、合理的に保守的に見積もる必要がある。
- 事務局
- ・今のシミュレーション上では経済成長率などを使い、全体的に同じ率で伸ばしている。個別で見えていきながらどこまでできるかというのは、これから担当と議論しながら次回お示しができるように検討させていただきたい。
- 会長
- ・文化施設はあり方検討会で検討されていくということなので、どのように盛り込むのか。意思決定がされるまではある前提を置いて考えざるを得ない。前提条件の幅をどの程度見込むのかについても検討していかなければならないので、資料をお願いしたい。
- 委員
- ・文化施設のあり方検討会が終わる時期はいつ頃か。

- 事務局 ・ 時期は今年度中ということで、このプランは秋頃にまとめることとなるため、どこまで反映できるかというところは、あり方検討の進捗状況を見ながら精査させていただきたい。
- 会長 ・ あり方検討会は今年度中に答申されて、令和7年度にどういう施設にしていくか市として決定されるということでよろしいか。
- 事務局 ・ あり方検討は結果にもよるが時期的なものも含めてあり方が示されると思っている。この審議会と合わせて総合計画に紐づく4か年の事業の実施計画がスタートする。内部協議となるがそちらも並行して進めていく。そこには投資的経費も入っているし、新規施策も盛り込まれると認識している。行革、特に施設マネジメントが具体的にどこまで含まれるかという、住民の合意形成も含めて進めていくとなると計画的に反映していくのは難しい。4か年分の行革を合意形成なしに盛り込むのは難しいかと思うが、反映できる分は反映するが、どこまでというのは現段階では明言しにくい。
- 会長 ・ 逆に行財政の見通しがあり方に影響を与えることはありうるか。
- 事務局 ・ マネジメントの視点でいうと今後何十年間で10%削減など、大きい目標は持っている。行財政プランは投資的経費に限らず大きい枠組みとなるので、各年度の投資的経費の財政規律で一般財源相当をいくらとすると上限を決めたとしたら多少影響を受けるかもしれない。全体4年間の事業計画の中で多少の前後は生じたとしても、大きくこちらのプランがマネジメントの取り組みを阻害するような行財政プランにはしていないかなと思う。
- 会長 ・ また議論を進める中で検討をしていきたい。

④今後の審議内容とスケジュールについて

＜事務局より資料に基づいて説明＞

(8) 諸連絡（省略）

○会長 ・本日予定していた議題はすべて終了した。これで第1回の行
財政審議会を終了する。

(9) 閉会

署名

第1回 伊丹市行財政審議会議事録として確認します。

委 員 _____

委 員 _____